

IV-112 長野新幹線開業が軽井沢町の商店に与えた影響に関する基礎的研究

日本鉄道建設公団 正会員 黒瀬 信弘
東京工業大学大学院 正会員 黒川 洸

1. 背景と目的

これまで新幹線開業について、沿線の地域開発、商業・業務の活性化、観光の誘発、人口増加、所得増加等、様々な影響について研究されているが、沿線観光地の個々の商店が観光客の動向の変化についてどのように事前予想したかという研究も必要である。観光地の商業の変化は観光客の入込みとその行動の変化が伴うため地元商店によって事前予想する点は異なり、また、新幹線開業と平行して実施されるさまざまな沿線開発も考慮しなければならない。したがって観光地の商業への影響の事前予想を考えるには、個々の商店がどのように考えたか細かく分析する必要がある。新幹線開業やそれに伴う沿線開発について、地元商店主は事前にそれに関する情報を知っており、これらについて自店への影響を予想していたものと思われる。本研究ではこれらの影響に関する事前予想はどのようなものであったのか、商店毎の予想の相違は何が要因となっているのかということを明らかにする。また、この事前予想と結果には何らかの相違が生じているものと考えられる。ではいったいどのような相違を生じ、その予想の当否の要因はどのような要因や考え方にあったのかを明らかにする。そして、今後の新線開業の際、事前予想に役立てる、以上がこの本研究の目的である。

2. 対象地区

1997年10月に開業した長野新幹線の沿線観光地である軽井沢を対象とした。軽井沢町は新幹線開業と同時期に、信越本線軽井沢―篠ノ井間第三セクター化、軽井沢駅周辺への新規大型出店、冬季五輪が開催など、複合的な変化が伴っている地区であり、それらも考慮しなければなら

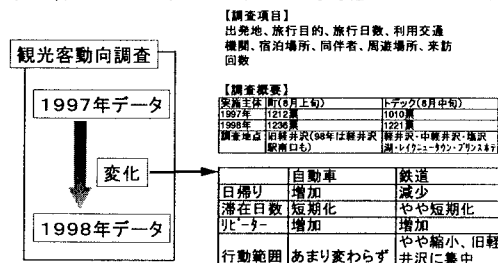


図1. 観光客動向調査

ない。

3. 観光客動向調査

商店の事前予想と実際の観光客の動向を比較するために、軽井沢町で夏期に実施されている観光客動向調査を分析した。1997年と1998年で比較すると図1のような変化の傾向が見られた。

4. 仮説の検討

これまでの新幹線開業の影響や、軽井沢観光客動向調査をもとにして商店の事前予想を仮定した。新幹線開業等に関する事前予想は、立地条件（図2）や商店街の性格が異なるため旧軽井沢、新軽井沢、中軽井沢の各地区によって異なることが考えられる（図3）。また新規出店によって競合関係が成りたつことが考えられるが、これに関する事前予想は商店の業種によって異なると考えられる（図4）。

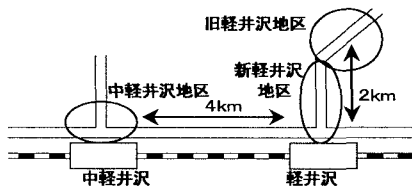


図2. 軽井沢の商店分布

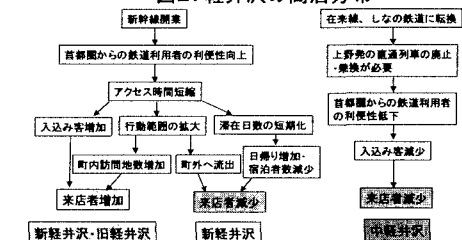


図3. 長野新幹線・しなの鉄道開業による影響の予想

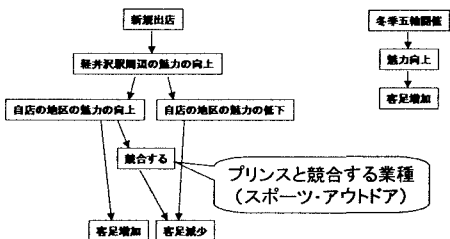


図4. 新規出店と冬季五輪開催による影響の予想

キーワード：新幹線開業、事前予想、観光客動向

連絡先：横浜市緑区長津田町 4259 東京工業大学大学院 総合理工学研究科

5. 商店主アンケート

そこで、仮説を確かめるため、軽井沢の商店にアンケート調査を行った。調査は、訪問配布で154店に配布し、訪問回収(一部郵送回収)で115店から回答を得られた。この調査を、まず、旧軽井沢、新軽井沢、中軽井沢の3地区に分類し、3地区の回答傾向を比較した。中軽井沢は、他の2地区に比べ、マイナスの影響を予想しがちであることが分かった(図5)。次に来店者総数の変化について事前予想と実態の当否について比較してみたところ、旧軽井沢では全般に事前予想の当否にバラツキが見られ、予想に比べ客足が減少していたところが多かった。中軽井沢は予想通りのところが目立った(図6)。旧軽井沢地区の回答者を「予想より増加・予想通り(Aグループ)」「予想より減少(Bグループ)」と分けて、各グループの回答傾向を見てみると、BグループはAグループに比べ入込み客増加等プラスの影響を受けることを強く予想している傾向があった(図7)。

6. 地区別考察

地区毎に商店主の予想の傾向とその背景について考察すると以下のように考えられる。

【旧軽井沢】新幹線開業で入込み客が増加し、行動範囲が拡大することで駅から2km離れた旧軽井沢地区に客足が流れ込むことを予想していたものと思われる。新規出店への心配が少ないのは、旧軽井沢が軽井沢の観光商業の中心として地位を保てると考えたことが考えられる。また、別荘滞在客のようなリピーターの客離れの不安が小さいものと考えられる。

【新軽井沢】新軽井沢地区は新しい店舗に近く、相乗効果で客足が流入する、また、この地区は軽井沢駅と旧軽井沢との間の地区であり、旧軽井沢への観光客の流動が増加することも併せて考えたものと思われる。

【中軽井沢】鉄道利用客の減少を予想したことは当然であろう。冬季オリンピックに関してプラス効果を予想したのは、冬季オリンピックのカーリング会場である風越公園や千が滝スケートセンターに近いためと考えられる。

7. まとめ

①過去の幹線開業が観光客動向に与えた影響に関する事例、②軽井沢町の駅と商店の分布、③軽井沢町で実施された観光客動向調査、以上3点から旧軽井沢、新軽井沢、中軽井沢の各地区で来店者の変化に関する予想に差異があるという仮説をたて、商店主へのアンケート調査を通してこれを確認した。観光客動向と商店主予想と仮説を比較

すると図8のようになった。

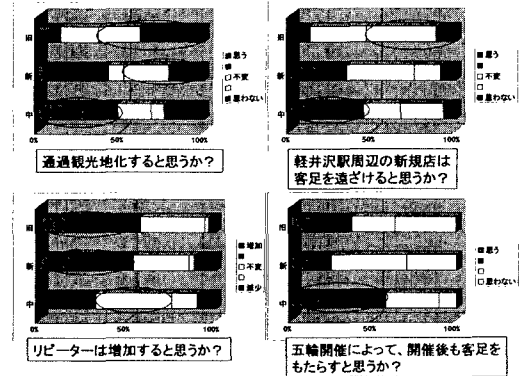


図5. 3地区の回答比較

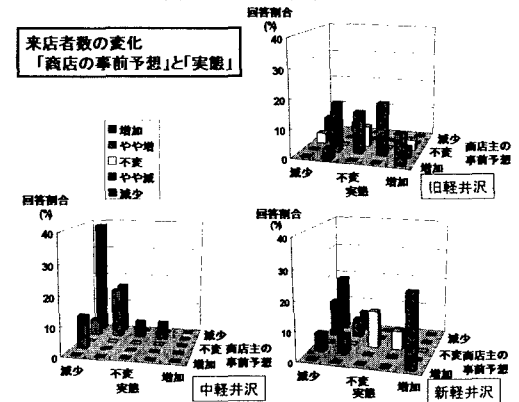


図6. 来店者数の事前予想と実態

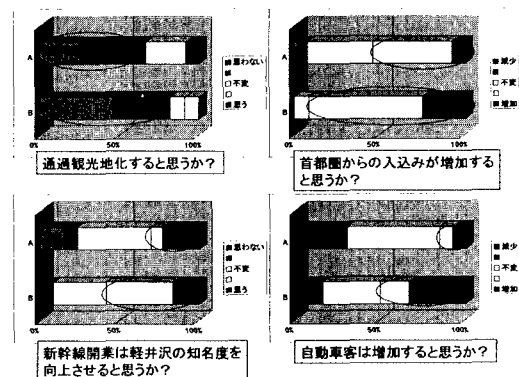


図7. 中軽井沢グループ別の回答比較

	観光客動向	商店主予想	仮説
旧軽井沢	新幹線開業は旧軽井沢へ集中	×(予想ほど増加しなかった)	○入り込み客増加(ただし、他の観光地への流出は×)
新軽井沢	来店者の増減は2極分化	○	○他の観光地への流出は×
中軽井沢	鉄道客減少	○	○

○: 予想通り ×: 予想違い

図8. 観光客動向と商店主予想と仮説の比較